

平成 23 年度導入開放機器

地方独立行政法人山口県産業技術センターでは、現在 200 を超える試験研究機器を開放し、企業の皆様のご利用をお待ちしています。

平成 24 年度には、新たに以下の機器が開放機器として仲間入りしました。

1. FT-IRマイクロATRシステム

970円/時間

用途

有機化合物の定性分析に用いる。



仕様

本体でマクロの透過及びATR (ダイヤモンド)測定が可能
赤外線顕微鏡で透過・反射及びATR(Ge)の測定が可能
※顕微ATRの測定は職員が実施します。

メーカー

日本分光株式会社

型式

FT/IR-6300 + IRT-5000



2. 熱分析装置 (Tg-DTA)

920円/時間

用途

電気炉により試料を加熱しながら、試料の重量変化と温度変化を同時に測定する装置で、試料の分解温度や蒸発量、反応熱量の測定が可能。



仕様

測定温度範囲: RT~1500°C
最大試料量: 200mg
DTA測定範囲: ±1000 μV
ガスフロー: 200m l /min (窒素、Ar、空気)

メーカー

(株)リガク

型式

Thermo Plus EVO2



3. ICP発光分光分析装置

2380円/時間

用途

試料溶液に含まれる様々な元素を、検出・定量する装置。
食品中のミネラル成分や排水中の有害金属の分析に利用可能。

1. 製品開発における素材の判定
2. 製品中の有害成分量測定
3. 排水管理



仕様

観測波長: 165-782nm
多元素の同時分析、アキシャル、ラジアルの同時測光が可能
超音波ネブライザ、水素化物発生装置を付属

メーカー

パーキンエルマー・ジャパン

型式

Optima8300



4. デジタルマイクロスコープ (KH-7700)

500円/時間

用途

被写界深度の深い光学特性を持ったズームレンズを使用し、ミクロからマクロまでの幅広い観察と、明視野・暗視野・拡散・可変・偏光等の様々な照明により、従来の顕微鏡では見えなかったものも観察可能。

仕様

静止画: 高精細モード6400×4800、
通常モード1600×1200

動画

AVI形式
CCD: 1/1.8型211万画素CCD

観察倍率: ×0~×2500

メーカー

(株)ハイロックス

型式

KH-7700



5. 蛍光X線分析装置 (EDXRF)

1480円/時間

用途

試料中の金属成分を短時間で分析。試料の前処理はほとんど必要がなく、サイズの小さな試料も分析可能。元素のマッピング測定、薄膜の膜厚測定なども可能。

仕様

X管球: ロジウム、タングステン
試料室雰囲気: 大気または真空
試料室サイズ: 600×350×260mm(WDH)
マッピング範囲: 200×150mm
X線照射径: 25 μm

メーカー

Bruker AXS K.K

型式

AXS M4 TORNADE-YS



6. 電磁耐性試験機 (イミュニティ)

830円/時間

用途

電子機器等に電磁波ノイズを意図的に与え、故障や誤動作の有無を評価する。アンテナから放射する電磁波ノイズを浴びせる「放射イミュニティ試験」と、電源線・信号ケーブルから電磁波ノイズを侵入させる「伝導イミュニティ試験」が可能。

仕様

・放射イミュニティ(規格 IEC61000-4-3)

周波数: 80MHz~6GHz

試験レベル: 10V/m(3m)

・伝導イミュニティ(規格 IEC61000-4-6)

周波数: 150k~230MHz

試験レベル: 10Vemf

メーカー

(株)東陽テクニカ

型式

SG(N5181A:Agilent), アンテナ(VULP9118E,STLP9149:Schwarzbeck)



※上記1-5の機器については、(財)JKAの競争による補助を受けて新たに購入・設置する開放試験研究機器です。

※上記6の機器は、経済産業省の地域企業立地促進等共用施設整備費補助金により新たに購入・設置する開放試験研究機器です。

<開放機器利用に関するお問い合わせは>